

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2020.4.20-26**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

7:12 それゆえ、もしあなたがたが、これらの定めを聞いて、これを守り行なうならば、あなたの神、主は、あなたの先祖たちに誓われた恵みの契約をあなたのために守り、

7:13 あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたをふやし、主があなたに与えるとあなたの先祖たちに誓われた地で、主はあなたの身から生まれる者、地の産物、穀物、新しいぶどう酒、油、またあなたの群れのうちの子牛、群れのうちの雌羊をも祝福される。

7:14 あなたはすべての国々の民の中で、最も祝福された者となる。あなたのうちには、子のない男、子のない女はいないであろう。あなたの家畜も同様である。

7:15 主は、すべての病気をあなたから取り除き、あなたの知っているあのエジプトの悪疫は、これを一つもあなたにもたらず、あなたを憎むすべての者にこれを下す。

7:16 あなたは、あなたの神、主があなたに与えるすべての国々の民を滅ぼし尽くす。彼らをあわれんではならない。また、彼らの神々に仕えてはならない。それがあなたへのわなとなるからだ。

7:17 あなたが心のうちで、「これらの異邦の民は私よりも多い。どうして彼らを追い払うことができよう。」と言うことがあれば、

7:18 彼らを恐れてはならない。あなたの神、主がパロに、また全エジプトにされたことをよく覚えていなければならない。

7:19 あなたが自分の目で見たあの大きな試みと、しるしと、不思議と、力強い御手と、伸べられた腕、これをもって、あなたの神、主は、あなたを連れ出された。あなたの恐れて

いるすべての国々の民に対しても、あなたの神、主が同じようにされる。

7:20 あなたの神、主はまた、くまばちを彼らのうちに送り、生き残っている者たちや隠れている者たちを、あなたの前から滅ぼされる。

7:21 彼らの前でおののいてはならない。あなたの神、主、大いなる恐るべき神が、あなたのうちにおられるから。

7:22 あなたの神、主は、これらの国々を徐々にあなたの前から追い払われる。あなたは彼らをすぐに絶ち滅ぼすことはできない。野の獣が増してあなたを襲うことがないためである。

7:23 あなたの神、主が、彼らをあなたに渡し、彼らを大いにかき乱し、ついに、彼らを根絶やしにされる。

7:24 また彼らの王たちをあなたの手に渡される。あなたは彼らの名を天の下から消し去ろう。だれひとりとして、あなたの前に立ちただかる者はなく、ついに、あなたは彼らを根絶やしにする。

7:25 あなたがたは彼らの神々の彫像を火で焼かなければならない。それにかぶせた銀や金を欲しがってはならない。自分のものとしてはならない。あなたがわなにかげられないために。それは、あなたの神、主の忌みきらわれるものである。

7:26 忌みきらうべきものを、あなたの家に持ち込んで、あなたもそれと同じように聖絶のものとなってはならない。それをあくまで忌むべきものとし、あくまで忌みきらわなければならない。それは聖絶のものだからである。

異教の民を滅ぼすようにとの命令です。それは「あわれんではならない」とあります。資料によると、彼らは子どもを生きたまま焼くなどして偶像礼拝していました。また「恐れてはならない」とあります。私たちも恐れから妥協することも多いかも知れません。主の力を思い起こして、その主に従う必要があります。

偶像となるようなものを「火で焼」き、家に持ち込まないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 21日 火曜

### 申命記



8:1 私が、きょう、あなたに命じるすべての命令をあなたがたは守り行なわなければならない。そうすれば、あなたがたは生き、その数はふえ、主があなたがたの先祖たちに誓われた地を所有することができる。

8:2 あなたの神、主が、この四十年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。

8:3 それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。

8:4 この四十年の間、あなたの着物はすり切れず、あなたの足は、はれなかった。

8:5 あなたは、人がその子を訓練するように、あなたの神、主があなたを訓練されることを、知らなければならない。

8:6 あなたの神、主の命令を守って、その道に歩み、主を恐れなさい。

8:7 あなたの神、主が、あなたを良い地に導き入れようとしておられるからである。そこは、水の流れと泉があり、谷間と山を流れ出た深い淵のある地、

8:8 小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろの地、オリーブ油と蜜の地。

8:9 そこは、あなたが十分に食物を食べ、何一つ足りないもののない地、その地の石は鉄であり、その山々からは青銅を掘り出すこと

のできる地である。

8:10 あなたが食べて満ち足りたとき、主が賜った良い地について、あなたの神、主をほめたたえなければならない。

イスラエルの荒野での行程を思い起こさせています。そしてその苦しみ、試み、飢えの目的が明言されています。それは主の「命令を守るかどうか…心のうちにあるものを知るため」であり、また「人は…主の口から出るすべてのもので生きる」とわからせるためであったのです。

荒野を生きて約束の地に至るというのは、私たちの地上での生涯と同じです。私たちの苦しみや試練は、主の命令を守るかどうかを知るため、そして主のことばによって生きるためなのです。

それは何か大変な課題を負わされたように感じるかもしれませんが、実は「あなたの着物はすり切れず、あなたの足は、はれなかった。」というように、主はしっかりと守ってくださるのです。主の守りを体験することが、試練の意味ですから、試練を恐れることなく、主に従ってみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 22日 水曜

### 申命記

8:11 気をつけなさい。私が、きょう、あなたに命じる主の命令と、主の定めと、主のおきてとを守らず、あなたの神、主を忘れることがないように。

8:12 あなたが食べて満ち足り、りっぱな家を建てて住み、

8:13 あなたの牛や羊の群れがふえ、金銀が増し、あなたの所有物がみな増し加わり、

8:14 あなたの心が高ぶり、あなたの神、主を忘れる、そういうことがないように。・主は、あなたをエジプトの地、奴隷の家から連れ出し、

8:15 燃える蛇やさそりのいるあの大きな恐ろしい荒野、水のない、かわききった地を通らせ、堅い岩から、あなたのために水を流れ出させ、

8:16 あなたの先祖たちの知らなかったマナを、荒野であなたに食べさせられた。それは、あなたを苦しめ、あなたを試み、ついには、あなたをしあわせにするためであった。・

8:17 あなたは心のうちで、「この私の力、私の手の力が、この富を築き上げたのだ。」と言わないように気をつけなさい。

8:18 あなたの神、主を心に据えなさい。主があなたに富を築き上げる力を与えられるのは、あなたの先祖たちに誓った契約を今日のとおりにもたされるためである。

8:19 あなたが万一、あなたの神、主を忘れ、ほかの神々に従い、これらに仕え、これらを拝むようなことがあれば、きょう、私はあなたがたに警告する。あなたがたは必ず滅びる。

8:20 主があなたがたの前で滅ぼされる国々のように、あなたがたも滅びる。あなたがたが



あなたがたの神、主の御声に聞き従わないからである。

神様から離れて、神ならぬものに仕えるようになる、その入り口は、「この私の力、私の手の力が、この富を築き上げたのだ。」と勘違いするところから始まります。神なしでもやっていけると思うと、神様を無視するようになり、自分の欲や得のためだけになってしまい、都合の良いもの神にしてしまうのです。

そうならないようにと、神様はモーセを通して警告されます。19節、20節を心に留めて、主の恵みのゆに自分があることを再確認して、主に感謝し従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:1 聞きなさい。イスラエル。あなたはきょう、ヨルダンを渡って、あなたよりも大きくて強い国々を占領しようとしている。その町々は大きく、城壁は天に高くそびえている。

9:2 その民は大きくて背が高く、あなたの知っているアナク人である。あなたは聞いた。「だれがアナク人に立ち向かうことができようか。」

9:3 きょう、知りなさい。あなたの神、主ご自身が、焼き尽くす火として、あなたの前に進まれ、主が彼らを根絶やしにされる。主があなたの前で彼らを征服される。あなたは、主が約束されたように、彼らをただちに追い払って、滅ぼすのだ。

9:4 あなたの神、主が、あなたの前から彼らを追い出されたとき、あなたは心の中で、「私が正しいから、主が私にこの地を得させてくださったのだ。」と言ってはならない。これらの国々が悪いために、主はあなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。

9:5 あなたが彼らの地を所有することのできるの、あなたが正しいからではなく、またあなたの心がまっすぐだからでもない。それは、これらの国々が悪いために、あなたの神、主が、あなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。また、主があなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブになされた誓いを果たすためである。

9:6 知りなさい。あなたの神、主は、あなたが正しいということで、この良い地をあなたに与えて所有させられるのではない。あなたはうなじのこわい民であるからだ。

9:7 あなたは荒野で、どんなにあなたの神、主を怒らせたかを覚えていなさい。忘れてはならない。エジプトの地を出た日から、この所に来るまで、あなたがたは主に逆らいどおしであった。

9:8 あなたがたはホレブで、主を怒らせたので、主は怒ってあなたがたを根絶やしにしようとした。

主のご計画に進むための約束というのは、”与えてあるので攻め取りなさい”というものです。それを手にするには、約束を信じて、前進する必要があります。

その行く手にはアナク人のような敵がいるかもしれませんが。しかし与えてくださるというのが主の約束である以上、戦われるのは主なのです。自分の力に関係ないこととなります。主の約束であるなら、自分の力以上のことができるのです。

ただしその場合、忘れてはならないのは、「私が正しいから、主が私にこの地を得させてくださったのだ。」と言ってはならないということです。私たちクリスチャンも比較的良い人が多いですから、自分が正しいと思いがちですが、主の前では罪深い者です。

「これらの国々が悪いために」とありますから、それに比べれば「正しい」と思っても良さそうですが、主はそれをよしとしません。「正しさ」も「こころがまっすぐ」であることも、人と比べるものではないのです。主の聖であることの前はどうであるかです。

謙遜に主の恵みを受け取りましょう。そして感謝を表しましょう。主の愛を証しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:9 私が石の板、主があなたがたと結ばれた契約の板を受けるために、山に登ったとき、私は四十日四十夜、山にとどまり、パンも食わず、水も飲まなかった。

9:10 その後、主は神の指で書きしるされた石の板二枚を私に授けられた。その上には、あの集まりの日に主が山で火の中から、あなたがたとに告げられたことばが、ことごとく、そのまま書かれてあった。

9:11 こうして四十日四十夜の終わりに、主がその二枚の石の板、契約の板を私に授けられた。

9:12 そして主は私に仰せられた。「さあ、急いでここから下れ。あなたがエジプトから連れ出したあなたの民が、墮落してしまった。彼らはわたしが命じておいた道から早くもそれて、自分たちのために鑄物の像を造った。」

9:13 さらに主は私にこう言われた。「わたしがこの民を見るのに、この民は実にうなじのこわい民だ。」

9:14 わたしのするがままにさせよ。わたしは彼らを根絶やしにし、その名を天の下から消し去ろう。しかし、わたしはあなたを、彼らよりも強い、人数の多い国民としよう。」

9:15 私は向き直って山から降りた。山は火で燃えていた。二枚の契約の板は、私の両手にあった。

9:16 私が見ると、見よ、あなたがたはあなたがたの神、主に罪を犯して、自分たちのために鑄物の子牛を造り、主があなたがたとに命じられた道から早くもそれてしまっていた。

9:17 それで私はその二枚の板をつかみ、両手

でそれを投げつけ、あなたがたの目の前でこれを打ち砕いた。

9:18 そして私は、前のように四十日四十夜、主の前にひれ伏して、パンも食わず、水も飲まなかった。あなたがたが主の目の前に悪を行ない、御怒りを引き起こした、その犯したすべての罪のためであり、

9:19 主が怒ってあなたがたを根絶やしにしようとした激しい憤りを私が恐れたからだった。そのときも、主は私の願いを聞き入れられた。

9:20 主は、激しくアロンを怒り、彼を滅ぼそうとされたが、そのとき、私はアロンのためにも、とりなしをした。

9:21 私はあなたがたが作った罪、その子牛を取って、火で焼き、打ち砕き、ちりになるまでよくすりつぶした。そして私は、そのちりを山から流れ下る川に投げ捨てた。

特別な神様との交わりによって与えられた契約の板でした。しかしイスラエルの民は、モーセの帰りが遅いので、神の代わりに偶像を造り罪を犯してしまいました。

ありえないようなことですが、私たちも警戒しなければなりません。神様の答えが遅いとき、祈っても答えられないとき、神様が遠くに感じられるとき、不安や失望から何か別のものに頼ろうとするのです。

モーセが「二枚の板をつかみ、両手でそれを投げつけ、あなたがたの目の前でこれを打ち砕いた。」のは、契約の破綻を意味します。モーセは契約を守ることなど到底できない民なのだと感じ、さらに緊迫したとりなしの思いで、主に祈ったことでしょう。罪の形である偶像と徹底的に処分したとともに、民のためには決してあきらめないでさらに主に祈ったところに、信仰の指導者としての善き姿があります。見習いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:22 あなたがたはまた、タブエラでも、マサでも、キプロテ・ハタアワでも、主を怒らせた。

9:23 主があなたがたをカデシュ・バルネアから送り出される時、「上って行って、わたしがあなたがたに与えている地を占領せよ。」と言われたが、あなたがたは、あなたがたの神、主の命令に逆らい、主を信ぜず、その御声にも聞き従わなかった。

9:24 私があなたがたを知った日から、あなたがたはいつも、主にそむき逆らってきた。

9:25 それで、私は、その四十日四十夜、主の前にひれ伏していた。それは主があなたがたを根絶やしにすると言われたからである。

9:26 私は主に祈って言った。「神、主よ。あなたの所有の民を滅ぼさないでください。彼らは、あなたが偉大な力をもって贖い出し、力強い御手をもってエジプトから連れ出された民です。」

9:27 あなたのしもべ、アブラハム、イサク、ヤコブを覚えてください。そしてこの民の強情と、その悪と、その罪とに目を留めないでください。

9:28 そうでないと、あなたがそこから私たちを連れ出されたあの国では、『主は、約束した地に彼らを導き入れることができないので、また彼らを憎んだので、彼らを荒野で死なせるために連れ出したのだ。』と言うでしょう。

9:29 しかし彼らは、あなたの所有の民です。あなたがその大いなる力と伸べられた腕とをもって連れ出された民です。」

点を教えてあげることは必要です。

ただしそれは愛によらなくてはなりません。関係が崩れた場合、向こうが悪いのだからと切り捨てるのは愛ではありません。モーセは「四十日四十夜、主の前にひれ伏して」、「神、主よ。あなたの所有の民を滅ぼさないでください。」と祈りました。それは「主があなたがた（イスラエル）を根絶やしにすると言われたから」です。すなわちイスラエルを救うためです。「パンも食わず、水も飲まぬ」い40日の荒野での祈りは、命に関わるものですが、モーセの民への愛はそれほどのものだったのです。

そして彼は神様の栄光に根拠をすえました。すなわち、「あなたがそこから私たちを連れ出されたあの国では、『主は、約束した地に彼らを導き入れることができないので、また彼らを憎んだので、彼らを荒野で死なせるために連れ出したのだ。』と言うでしょう。」と、主の栄光に関わるのでお願いしますということです。これは単に主との取引ではありません。モーセは本当に主の栄光を慕っていたのです。そのために生涯をかけたほどですから。

このようなモーセと、彼を動かした主によって導かれたイスラエルですが、それはまた私たちの姿でもあります。モーセほどの指導者はいないかもしれませんが、私たちは主と主によって用いられた多くの指導者や信仰の先輩によって導かれました。そして今日があることを思うと、確信、感謝、希望にあふれ、そして自省の思いも与えられるでしょう。そのような深い理解によって主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

さらにも信仰の指導者としてモーセの善き姿が表されます。彼は民の不信仰を明らかにします。問題



10:1 そのとき、主は私に仰せられた。「前のような石の板を二枚切って作り、山のわたしのところに登れ。また木の箱をつくれ。  
10:2 その板の上に、わたしは、あなたが砕いた、あの最初の板にあったことばを書きしるそう。あなたはそれを箱の中に納めよ。」  
10:3 そこで私はアカシヤ材の箱をつくり、前のような石の板を二枚切り取り、その二枚の板を手にして山に登って行った。  
10:4 主は、その板に、あの集まりの日に山で火の中からあなたがたに告げた十のことばを、前と同じ文で書きしるされた。主はそれを私に授けた。  
10:5 私は向き直って、山を下り、その板を私が作った箱の中に納めたので、それはそこにある。主が命じられたとおりである。  
10:6 ・・イスラエル人は、ベエロテ・ベネ・ヤアカンからモセラに旅立った。アロンはそこで死に、そこに葬られた。それで彼の子エルアザルが彼に代わって祭司の職に任じられた。  
10:7 そこから彼らは旅立ってグデゴダに行き、またグデゴダから水の流れる地ヨテパタに進んだ。  
10:8 そのとき、主はレビ部族をえり分けて、主の契約の箱を運び、主の前に立って仕え、また御名によって祝福するようにされた。今日までそうなっている。  
10:9 それゆえ、レビには兄弟たちといっしょの相続地の割り当てはなかった。あなたの神、主が彼について言われたように、主が彼の相続地である。・・  
10:10 私は最初のときのように、四十日四

十夜、山にとどまった。主はそのときも、私の願いを聞き入れ、主はあなたを滅ぼすことを思いとどまられた。  
10:11 そして主は私に、「民の先頭に立って進め。そうすれば、わたしが彼らに与えると彼らの先祖たちに誓った地に彼らはいり、その地を占領することができよう。」と言われた。

こともあろうに民は、律法を授かるべきその時に、最も忌むべき罪である偶像礼拝をしてしまいました。話にならないという状況で、律法を守る守らない以前の問題です。まったく律法の契約など成り立たないわけですが、新約の真理から言うとそれはまさに人類の罪そのものを表しています。私たちはそれほどに罪に蝕まれている存在なのだという事です。

しかしモーセは神にとりなして、もう一度チャンスももらいました。すなわちもう一度石の板を用意して、「前と同じ分で書き」しるしていただいたのです。

この律法の契約の板を運ぶことは、何よりも重要なことなので、仕事の片手間にはできないことです。神様は一つの民を選んでそのための働きを担わせました。彼らが生活に煩わされないように、相続地がなくても、彼らの生活を保証しました。それほど信仰のための働きは重要で尊いのだと知りましょう。

新約時代の今は、万人祭司ですから、私たちはみなが主のために生きるなら保証されるのだと信じましょう。レビ部族のように主の働きを担いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

